

教材教具名	スケジュール表	分類	その他 - 学習システム
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 課題を行うときに、見通しが持てるようにすること。 • 最後に『おたのしみ』が待っていることでモチベーションを上げること。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 取り組む前にその時間に行う課題を見せて見通しを持たせる。
- 上から順に写真カードをはがし、カゴについているポケットに入れ、課題を取り出す。
- 全部なくなったことを視覚的に提示し、児童の頑張りを褒める。

<工夫点>

- マジックテープを使うことで順番などを変えやすくした。

<効果>

- 写真カードをよく見て、何の課題をするか確認していた。
- 『おたのしみ』を励みに課題に取り組む姿が見られた。

教材教員名	課題BOX	分類	その他 — 学習システム
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・見通しを持って、課題に取り組む		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・一つの課題が終了したら、机の上に設置した「できましたカード」を教員に手渡し、番号カードをもらったら、同じ番号の課題BOXに貼り、課題スタート。

<工夫点>

- ・はじめ、机の上に番号カードも設置していたが、本人が自分のやりたい課題を選んで貼り付け、（BOXは上から下に課題を並べている）それを注意されて不安定になる…ことがくり返し起こったため、番号カードは教員が手渡す方法に変更した。

<効果>

- ・🌀はじめは3つの課題数であったが、見通しを持って取り組めるようになったことで、現在は目標であった6課題を時間内（40分）に終わることができるようになった。

教材教員名	スケジュール	分類	その他 — 学習システム
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・学習の流れを知る。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・机の上にシートをおいて、今日の学習の流れを確認する。
- ・数字カードを外して、ケースの数字カードに重ねる。

<工夫点>

- ・1日の個別課題の流れが一目でわかるような大きさにした。
- ・どの課題に取り組んでいることがわかるように、数字カードを付け外しできるようにした。

教材教具名	ワークシステム	分類	その他 — 学習システム
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・見通しを持って一人で課題に取り組む。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・予定表の番号をかごについている袋に入れ、順番に課題を行う。
- ・課題を順に終え「できました」カードまで来たら報告する。

<工夫点>

- ・「できました」カードを入れることで、報告のタイミングを分かりやすくした。

<効果>

- ・一人で課題に取り組むことが定着してきた。

教材教員名	やることリスト	分類	その他 — 学習システム
		授業名	国語数学（高等部）
ねらい	・見通しをもって学習に取り組む。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・学習のはじめに、日付、名前、勉強する内容を書く。
- ・机に立てておき、内容を確認しながら学習を進める。
- ・学習がすべて終わったら、その日の課題分の数のシールを貼る。

<工夫点>

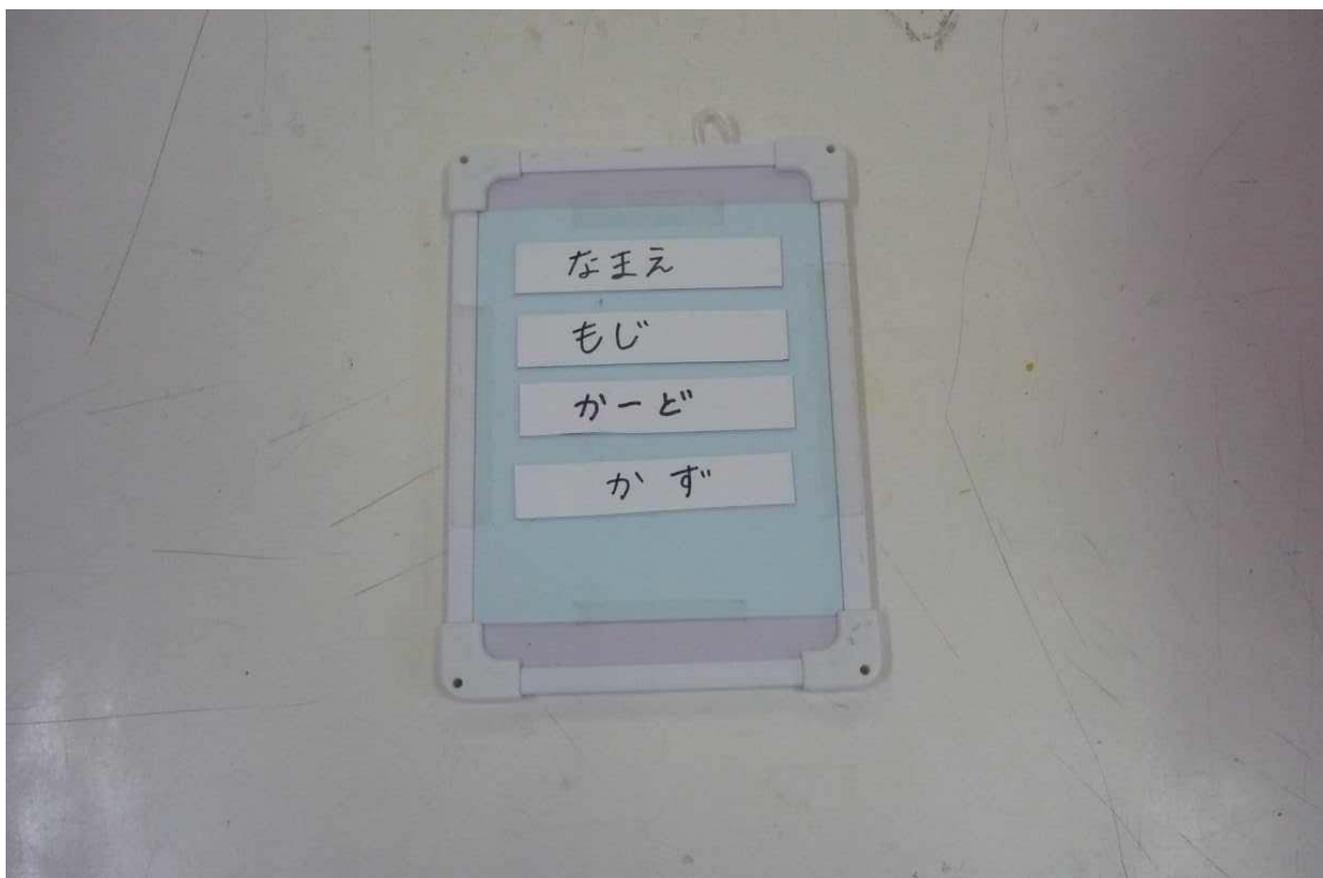
- ・生徒の実態によって、写し書きとなぞり書きに分けた。
- ・重点的に学習する部分のみ書くようにした。
- ・ボードを立てることで、学習の邪魔にならないようにした。

<効果>

- ・生徒が、「次は〇〇」と言って積極的に学習に取り組むようになった。
- ・学習終了後にシールを貼ることで、「やった！」と声を出し、達成感を感じているようである。

教材教具名	やることボード	分類	その他 — 学習システム
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 取り組む課題はいくつか、何をするのか、見通しを持って取り組むことができるようにする。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 個別課題の時間の最初に、ボックスの課題と照らし合わせながらボードに書かれた課題名を読み上げる。
- 課題が終わるごとにボードのマグネットを裏返し、「おわり」にする。

<工夫点>

- 課題名は短く分かりやすいようにした。
- 読字が難しい児童には、課題の写真で提示した。

<効果>

- 最後まで着席して課題に取り組むことができた。